事業者説明会の状況とメインオークション関連の スケジュール状況の報告

2021年6月28日

容量市場の在り方等に関する検討会事務局※

- 1. はじめに
- 2. 事業者向け説明会の開催状況
- 3. 情報発信の取り組み
- 4. 説明会資料等の公表について
- 5. 今後のスケジュール

- 昨年度に引き続き、事業者のみなさまに容量市場の理解を深めていただくとともに、2020年度メイン オークション(実需給年度:2024年度)からの変更点を説明するため、概要説明会および制度詳細説明会を5月より実施している。
- 説明会に続いて、今年度の実務者向けの説明会資料についても、広域機関HPで公表を随時実施しているところ。
- また、昨年度開設した特設サイト「かいせつ容量市場スペシャルサイト」についても、今回の制度変更を 反映し更新を行っている。
- 本日は、メインオークションに向けた準備状況、および今後のスケジュールについて報告を行う。

2. 事業者向け説明会の開催状況 概要説明会、制度詳細説明会の開催状況

- 本年 5 月より、容量市場の「概要説明会」をWeb形式で開始した。昨年度と同様に、この概要説明会では制度の背景や仕組みより説明を行った(計3回:約150事業者、約200名参加)。
- 今回の概要説明会では、容量市場の説明会に初めて参加していただいた方が多くを占めていた状況。
- 6月には、「制度詳細説明会」をWeb形式で計6回開催することとし、約230事業者(約290名) が参加されている状況となっている。

<「概要説明会」開催状況>

開催日	(1) 5/17	(2) 5/27	(3) 5/27	≣ †
参加者数	58名	81名	67名	206名
事業者数	43社	62社	52社	151社※

※重複除く



<「制度詳細説明会」開催状況>

		資料全体を説	明する説明会			D変更点を た説明会	
開催日	(1) 6/16	(2) 6/17	(3) 6/17	(4) 6/28	(5) 6/16	(6) 6/17	≣ †
参加者数	83名	63名	69名	50名(予定)	38名	33名	336名
事業者数	74社	54社	57社	34社(予定)	35社	31社	259社※

※重複除く

2. 事業者向け説明会の開催状況 このあとの説明会の開催予定

- 現在、事業者のみなさまには、具体的な事例等をもとに様々なお問い合わせをいただいている状況。
- それらも踏まえつつ、実務的な「リクワイアメント・アセスメント・ペナルティの概要」説明会を、制度詳細説明会の開催の後、7月に開催することを予定している。

説明会	内容	スケジュール	主な対象者
概要説明会	制度概要	2021年5月17日(実施済) 2021年5月27日(実施済)	全事業者
詳細説明会	募集要綱、容量拠出金等	2021年6月16日(実施済) 2021年6月17日(実施済) 2021年6月28日(本日)	全事業者
リクワイアメント・ペナル ティ・アセスメントに関する 説明会	リクワイアメント、ペナルティ、アセスメン ト	2021年7月(予定)	発電事業者

2. 事業者向け説明会の開催状況 (参考) 制度詳細説明会の内容例 1/2

- ■「制度詳細説明会」では、募集要綱の内容について理解を深めていただくことを目的として開催。
- 前年度との変更点を把握したいニーズも踏まえて、制度全体を通して説明する回と、昨年度からの変更点を中心に短時間で説明する回を分けて、参加しやすいような開催にも取り組んでいる。

容量市場詳細説明会資料より

前年度からの主な変更点(2/2)

7

- 変更:メインオークションの目標調達量の内訳 (p45~47) 対象実需給年度が2025年度のメインオークションから目標調達量は、FIT電源等および本機関の電源入札制度を活用した電源等の期待容量に加え、新たに追加オークションで調達を予定している供給力を含みます。
- 変更:経過措置の控除方法 (p49,50) 2021年度メインオークション (対象実需給年度:2025年度) 以降は、2020年度メインオークション (対象実 需給年度:2024年度) の結果を踏まえた制度の見直しにより、安定電源および変動電源 (単独) に対して、 「1.電源等の経過年数に応じた控除」と「2.入札内容に応じた控除」を行います。
- 新規: 非効率石炭火力に関するリクワイアメントの追加 (p61,62) 非効率石炭火力電源について、対象実需給年度における年間設備利用率を50%以下としたうえで、アセスメント対象容量以上の供給力を提供していただきます。

2. 事業者向け説明会の開催状況 (参考) 制度詳細説明会の内容例 2/2

■ 説明会では、事業者の皆さまからいただいた質問や、応札の留意点の紹介等も行い、応札に向けた 準備がスムーズに進むように意識して説明を行っている。

容量市場詳細説明会資料より

その他留意点

8

- クライアント証明書の有効期限が過ぎますと、容量市場システムが使用できなくなります。有効期限をご確認いただき、期限が切れる前にクライアント証明書の更新をお願いいたします。また、IDとパスワードについてもお早目にご確認していただき、不明点があれば本機関までご連絡願います。
- 前年度までに登録のあった電源等情報のうち、一部を除いては、当機関にて登録支援を行います(p26参照)。 一方、期待容量登録・応札については市場参加者にて毎年実施いただく必要があります。
- 発動指令電源についても、他の電源等の区分と同じタイミングで電源等情報の登録・期待容量の登録・応札の実施をお願いいたします。
- 発動指令電源のオンライン機能(簡易指令システム)については、対象実需給年度の3年度前の2月末までにオンライン機能具備のご準備をお願いします。オンライン機能の構築に必要となる工期を考慮のうえ、余裕のあるスケジュール設定をお願いいたします。
 - 簡易指令システム工事受付の空き状況につきましては、以下URLより「簡易指令システム工事受付空き状況」をご参照いただき、「簡易指令システム工事受付空き状況」の最新版をご確認ください。
 - 本機関HP 発動指令電源のオンライン機能(簡易指令システム)の構築について https://www.occto.or.jp/market-board/market/oshirase/2020/210322_hatsudoushirei_onlinekinou.html
- 容量市場システムの電源等情報において、「安定電源」で登録する電源は、需給調整市場に参加予定の有無に関わらず、需給調整市場の商品の要件にあてはまれば調整機能「有」で登録してください。
 - ▶ 本来調整機能「有」に該当するにもかかわらず、調整機能「無」で登録された電源が需給調整市場に応札した場合、募集要綱に記載されております情報の不足・虚偽に当たり、市場退出となってしまう可能性がございますのでご注意ください。
- 今年度のメインオークションにおける電源等情報登録にて、容量市場システムにおいて、経過措置対象の電源も「経過措置対象外」と表示される箇所がありますのでご注意ください(p51参照)。

3. 情報発信の取り組みかいせつ容量市場スペシャルサイトによる情報発信

- 「かいせつ容量市場スペシャルサイト」では、2020年6月の特設サイトの開設以降、掲載情報をアップ デートしながら発信をおこなっている。
- 制度検討の経緯や小売電気事業者へ向けた情報なども、コンテンツを追加しながら更新を行っている。
- また、これまでの検討会等における審議事項について主な内容を記載することでアクセスしやすい環境 づくりを心掛けているところ。

<これまでの審議会・検討会の様子も、紹介を開始>



審議会・検討会情報一覧

これまでの経緯

容量市場については、2013年2月「電力システム改革専門委員会報告書」において、次のことから容量市場の創設が適当であると整理されました。

- ・電力システム改革により小売電気事業者は供給力確保義務(自らの顧客のために必要な供給力を調達)を課されることとなるため、将来の供給力を早い段階から確保することを可能とする機能が重要となる
- 長期の電源投資のリスクを低減することで電源投資を促すという観点から、実需給より手前の段階で投資コストの一部回収を可能とする機能が必要等となる

また、これらの整理を受け、2017年2月「電力システム改革貫徹のための政策小委員会中間とりまとめ」において、中長期の供給力 確保に際し、電源投資の予見可能性を高める方策として、電力広域的運営推進機関(広域機関)を市場管理者とした、集中型の容量 市場の導入の検討を進めていくことが適切と整理され、「容量市場の在り方等に関する検討会(広域機関)」を中心に検討を進めて きました。 これまでの議論

<国の審議会(制度検討作業部会)>

開催日	開催回	主な内容
2017年3月6日	第1回	・今後の市場整備の方向性
2017年8月28日	中間論点整理	
2017年9月6日	第10回	 ・容量市場と需給調整市場との関係 ・容量市場の地理的範囲(全国単一とエリア別) ・容量オークション外の相対取引の扱い ・容量オークションへの参加(入札しない選択肢) ・容量確保時期と契約期間(容量確保時期)
2017年10月6日	第12回	・容量市場の対象範囲と費用負担の考え方 ・オークション制度の設計(メイン・追加オークションの位置づけ) ・オークション制度の設計(入札単位と電源差し替え) ・需要曲線の設定(需要曲線の形状) ・容量市場におけるリクワイアメント・ペナルティ(総論)
2017年11月10日	<u>第14回</u>	・新設・既設の区分、経過措置 ・費用精算の考え方(発電等の支払・ペナルティ精算、小売請求の基本的 考え方、請求額算定方法) ・市場支配的な事業者への対応
2017年12月12日	第16回	・費用精算の考え方(市場管理者の位置づけ、費用徴収の確実性、小売への請求額配分方法) ・電源の立地や特性等に鑑みたkW価値(期待容量、計画外停止、目標調達量等) ・他制度との整合性(固定価格買取制度との関係、需給調整市場との関係、メイン・追加オークション、DRの参入要件、調整力を持つ電源、電源入札制度) ・容量市場の情報公開・フォローアップ
2017年12月26日	第二次中間論点整理	

3. 情報発信の取り組み (参考) SNSによる情報発信例

<SNSを活用した情報発信>





4. 説明会資料等の公表について

- 概要説明会については、説明会資料とともに、参加できなかった方へ説明会の動画も公表している。
- 制度詳細説明会についても、説明会資料の公表と、説明会の終了後に動画も公表を予定している。
- 各種マニュアルや実務説明資料も、今年度オークションに向けた内容に修正し、6月以降に順次、広 域機関HPで事業者の皆様へ提供を行っている。

<説明会資料の公表> https://www.occto.or.jp/market-board/market/youryou_setsumeikai.html



4. 説明会資料等の公表について (参考) 応札までに公表を予定している主な資料

※6/28時点の予定

	項目	公表スケジュール※	主な対象者
説明会	概要説明会資料・動画	2021年5月(公表済み)	全事業者
	詳細説明会資料・動画	2021年7月	全事業者
	リクワイアメント・ペナルティ・アセスメントに関 する説明会資料・動画	2021年8月	応札者 (発電事業者等)
実務説明 (マニュアルの補足)	事業者・電源等情報の登録申請について	2021年5月(公表済み)	応札者 (発電事業者等)
	期待容量の登録申請について	2021年6月(公表済み)	応札者 (発電事業者等)
	応札について	2021年7月	応札者 (発電事業者等)
業務マニュアル	メインオークションの参加登録編	2021年7月	応札者 (発電事業者等)
	メインオークションへの応札・ 容量確保契約書の締結編	2021年8月	応札者 (発電事業者等)

<マニュアルの公表ページ>

https://www.occto.or.jp/market-board/market/jitsujukyukanren/2025_jitsujukyu_kanren.html

5. 今後のスケジュール 応札、及び登録等の準備について

- 現在、2021年度メインオークション(対象実需給年度:2025年度)の**応札期間については、** 10月1日~10月14日を予定している。
- なお、応札にあたっては、事業者情報^{※1}や電源等情報^{※2}、期待容量^{※3}の登録が必要となり、それぞ れの登録期間については、以下を予定している。
 - ・事業者情報の登録受付期間:7月12日~7月16日
 - ・電源等情報の登録受付期間:7月20日~8月 6日
 - ・期待容量の登録受付期間 :8月23日~9月10日
 - ※1:2020年度メインオークション(対象実需給年度:2024年度)に参加登録された事業者は、登録項目に変更がある場合のみ変更。
 - ※2:2020年度メインオークション(対象実需給年度:2024年度)に参加登録された電源等情報は、本機関により、当該内容を2021年度メインオークション(対象実需給年度:2025年度)の電源等情報として容量市場システムに登録するものの、①取次により登録されているもの、②電源等区分が「安定電源」で、かつ主燃料が「石炭」のものは、新たに登録が必要。
 - ※3:2020年度メインオークション(対象実需給年度:2024年度)の参加有無に関わらず必要。

5. 今後のスケジュール (参考) 2021年度メインオークション関連のスケジュール

- 容量市場のメインオークション応札に向けて、事業者のみなさまは、7月から開始される事業者情報や 電源等情報、および期待容量に係る手続き等の準備を進めていただいているところ。
- 今後、広域機関は、登録や手続きのステップ毎のマニュアルを提供しつつ、登録に関する問合せ窓口を設置して、事業者のみなさまの登録申請の支援を行っていく。
- また、容量市場スペシャルサイト、SNS等も活用し、引き続き、容量市場に関する情報提供や制度の 仕組みの周知も行っていく。

